TN51176

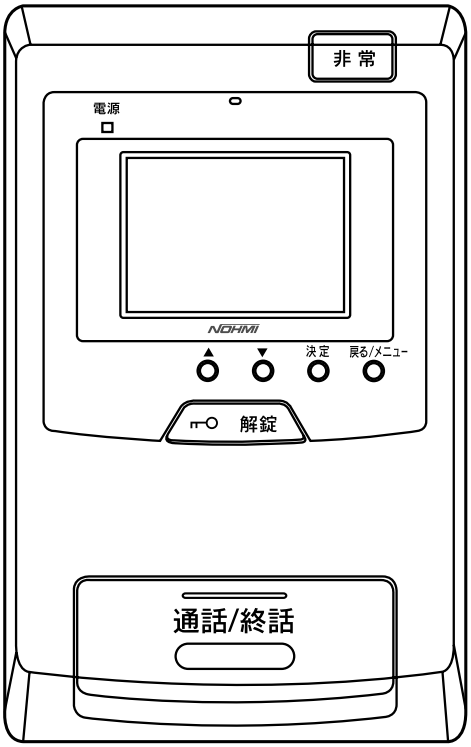
NOHMI

# リサ スタンダードシステム(クォスティ対応)
# カラーモニター付増設インターホン

# 工事店様用 工事説明書

## HCIJ002-U

**警告** ⚠ 製品を正しくお使いいただくため、お取り付けの前にこの工事説明書を必ずお読みください。




## 目次


**1.お取り付けの前に**

■安全上のご注意……2

■梱包箱内の付属部品など……3

■工事するにあたって準備する工具など……3

**2.取り付け方法**

■埋込ボックスについて……4

■取り付け方法……4～6

■取り付け･接続に関する法律など……6

**3.接続･設定方法**……7～9

**4.設置後のお願い**……10

**5.仕様**……10

**6.アフターサービスについて**……11



能美防災株式会社

# 1 お取り付けの前に

## ■安全上のご注意

お取り付けの前にこの「工事説明書」をよくお読みのうえ、正しい設置・配線をしていただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止願います。

**危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをした時に想定される内容を、「警告」「注意」の２つに区分しています。**

**「警告」**：この表示を無視して誤った取扱いをした場合、人が重傷や傷害を負うかまたは機器の機能に重大な悪影響を及ぼすことが想定される場合。

**「注意」**：この表示を無視して誤った取扱いをした場合、人が傷害を負うかまたは機器の機能に悪影響を及ぼすことが想定される場合。

### 絵表示の見方

左の記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。

左の記号は、禁止の行為を告げるものです。

左の記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。

## ⚠ 警 告

電源の配線工事は、「電気工事士」の資格のある方が行ってください。
資格のない方の工事は、感電・故障・発火の原因となります。

消防法で義務付けられた部分に設置する場合は、消防設備士甲種第4類の資格が必要です。

各端子への配線は、所定の定格容量、極性に従い正しく配線してください。誤った場合、故障・発火の原因となります。

機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

## ⚠ 注 意

電源接続前に本システム機器の定格電圧を確認してください。定められた定格電圧以外では、故障・発火の原因となります。

携帯電話、無線を近くで使用すると誤動作の原因となることがあります。

# 1 お取り付けの前に

## ⚠ 注 意

次の場所への設置および使用は避けてください。感電・故障・発火の原因となります。
- 直射日光の当たる場所。
- 暖房機器などの近くで、温度が上昇するところ。
- 常時ほこりや腐食性ガスが発生するところ。
- 湿度が高いところ。

機器を設置する時は、その重量に十分耐えるように、強固に取り付けてください。
安易な取り付けは脱落などによりケガのもとになります。

充電部のカバーは、工事終了後かならず取り付けてください。感電の恐れが生じます。

弱電流線の配線は低圧屋内配線（AC100V、200V）とは30cm以上離してください。
ノイズや誤動作の原因となることがあります。

配線の被覆をむく時に、銅線にキズをつけないでください。
銅線が折れて差し込み端子から取れなくなることがあります。

本機はあらかじめ接続台数とアドレスの設定が必要です。
設定をせずに本機の電源を投入すると正常に機能しません。

配線被覆のむき長さは指定通りにしてください。
接触不良や短絡事故の原因となることがあります。

### ■梱包箱内の付属部品など

梱包箱の中には次の付属部品が入っています。梱包箱を開けた際には、まず付属部品が揃っているか確認してください。

| | |
|---|---|
| カラーモニター付増設インターホン・・・・1 | Mネジ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 |
| 取扱説明書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 | 接続用コネクター（8P）・・・・・・・・・・・・・・・1 |
| 工事説明書（本書）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 | 機器保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 |

### ■工事するにあたって準備する工具など

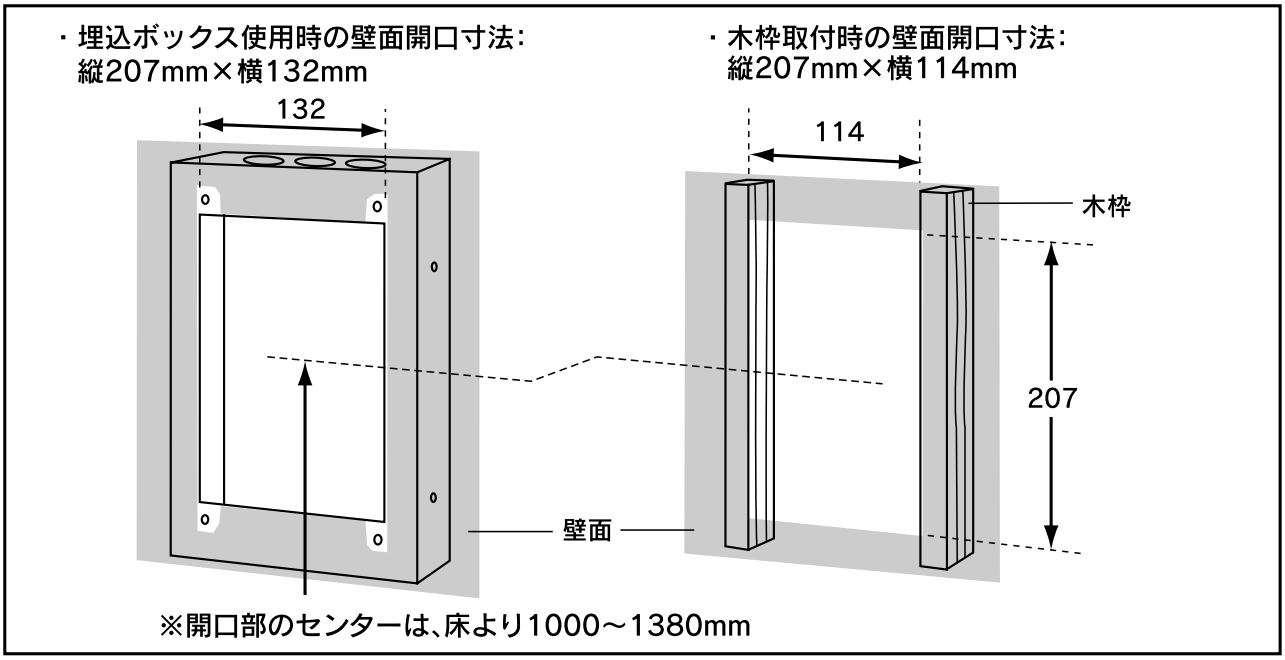
本機の取り付け、配線に必要な工具は次の通りです。

| 名　称 | 工具を使用する主な作業内容 |
|---|---|
| 普通ドライバー | 本体の取り付け |
| ニッパー | 配線の切断、ケーブル外皮むき |
| ストリッパー | ケーブルの芯線の被覆むき |
| カッター | ケーブルの外皮むき |
| 精密ドライバー | 各種設定 |

# 2 取り付け方法

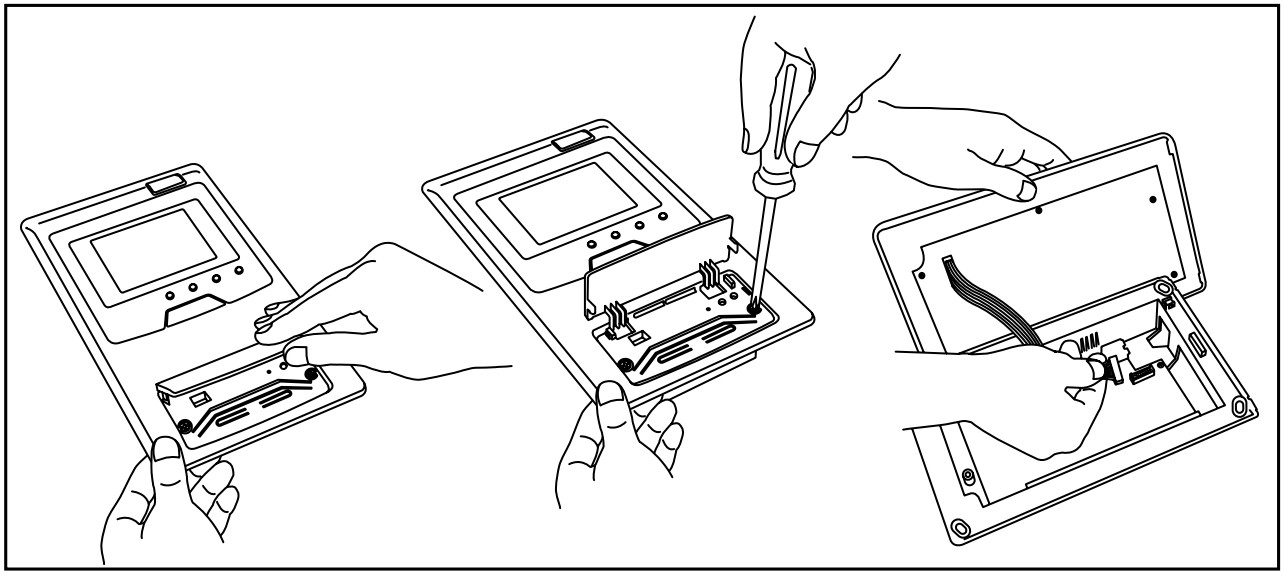
## ■埋込ボックスについて

※埋込ボックスは安全のため、必ず木枠を組んで取り付けてください。
※埋込ボックスはZBC-９型を使用してください。
※埋込ボックスを使用する場合は、AC100V線用の入線口を左端に、弱電流線用の入線口をその他の場所に開けてください。




## ■取り付け方法

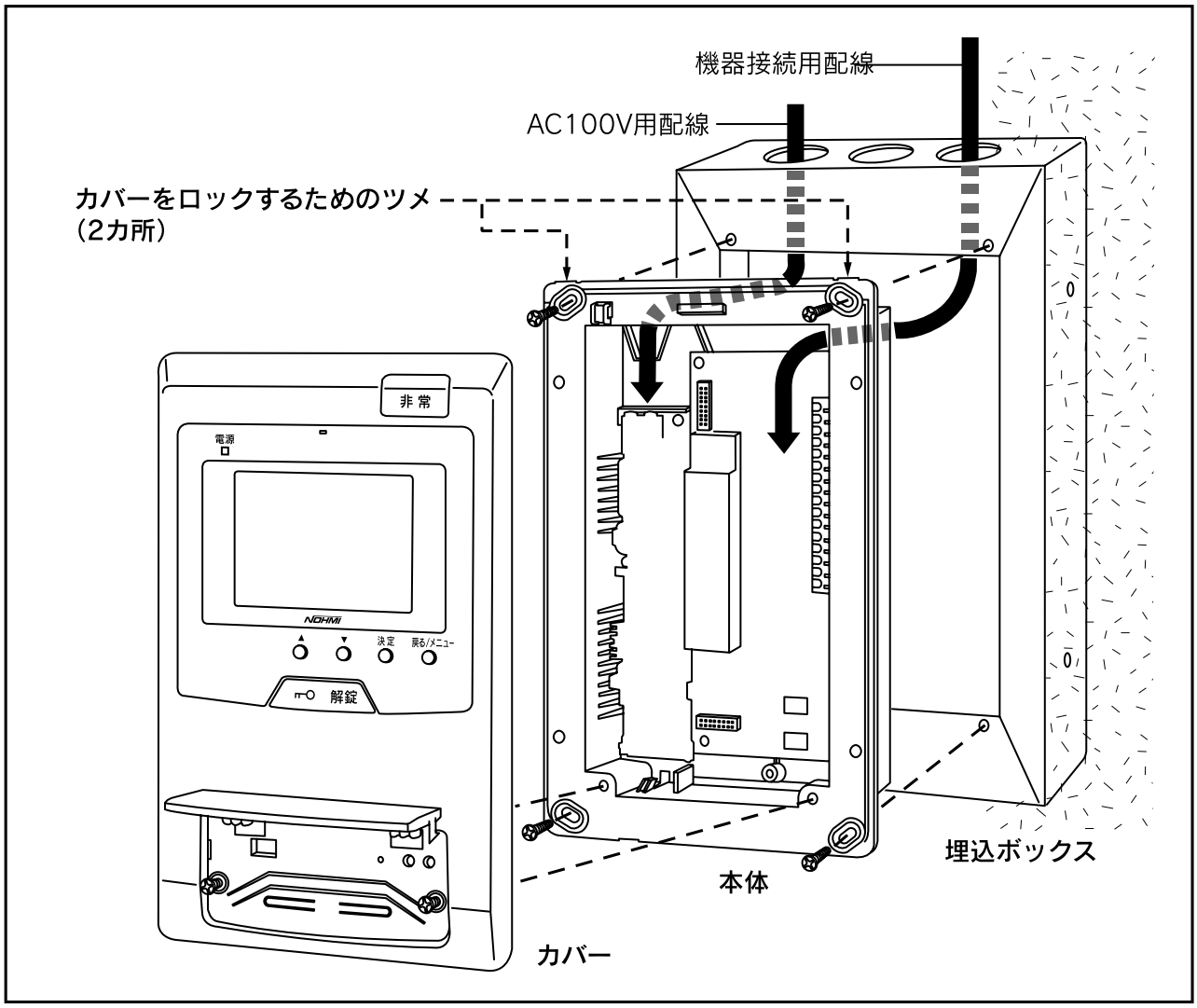
**1 本機の取り付けは、壁面・埋込型です。**
**取り付ける前に、まず本体のカバーをはずします。**



◎通話ボタンはフタのようになっていますので、下に指をかけ、手前に引くようにしてロックがかかるまで引き上げます。
◎正面に現れたネジをドライバーでゆるめます。(２点)
◎カバーの下面を手前に引いてから上部にスライドさせて本体からはずします。
◎コネクターをはずし、本体からカバーを分離します。

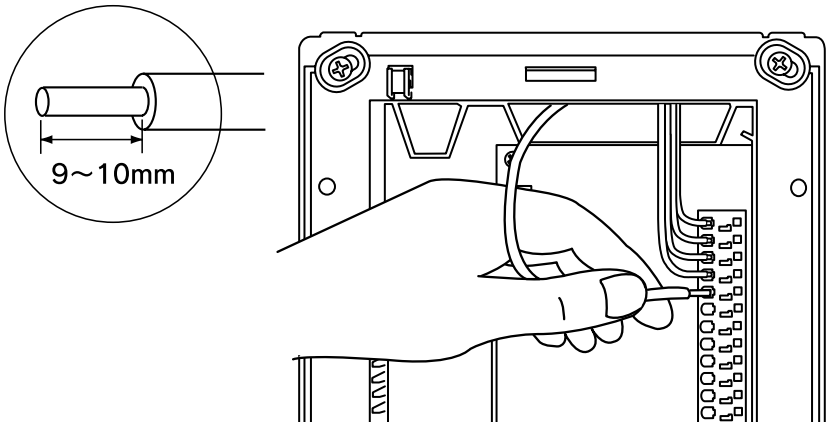
# 2 取り付け方法

**2** 本体を付属のネジで埋込ボックス（または木枠）に取り付けます。

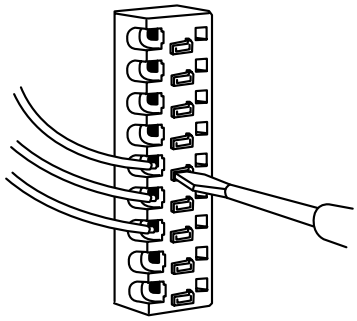



**3** 弱電流線をターミナル端子およびコネクターに接続します。

※弱電流線はφ0.65～φ1.2の単芯を使用してください。
※被覆のむき長さは、9～10mmとしてください。



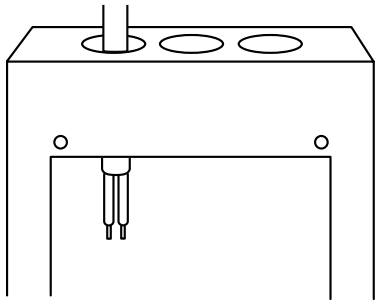

※弱電流線をターミナル端子から抜く場合は、㊀ドライバーで解除ボタンを押しながら、線を引き抜きます。

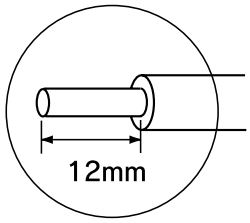


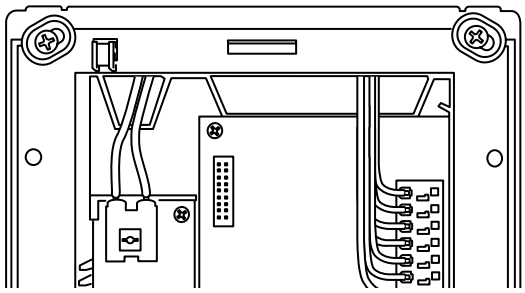
# 2 取り付け方法

### 4 AC100V線を電源端子に差し込み、接続します。

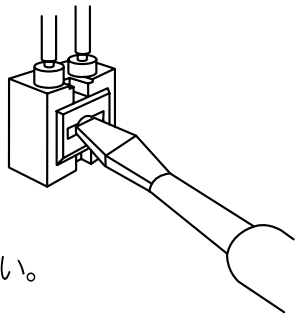
◎AC100V線を下図のように左端の入線口より引き込んでください。





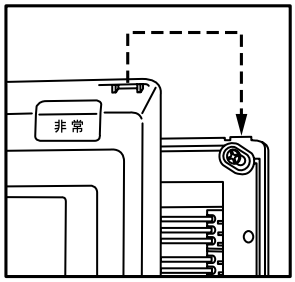
◎AC100Ｖ線の被覆を12mmむき、電源端子に強く差し込み、接続します。
◎AC100V線を電源端子から抜く場合は、⊖ドライバーで解除ボタンを強く押しながら線を引き抜きます。

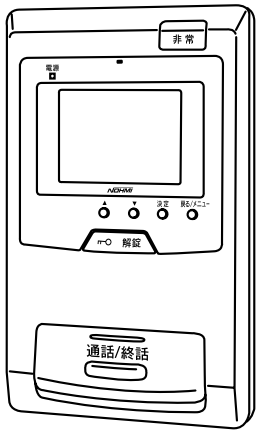


※AC100Ｖ線はVVFケーブルまたはIV電線のφ1.6を使用してください。
より線を使用する場合は、絶縁被覆付き棒型圧着端子を使用してください。

### 5 本体にカバーを取り付けます。

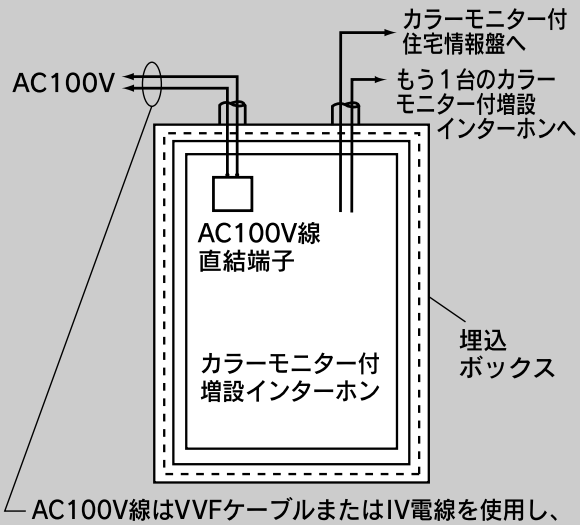
◎各線の接続後、カバーを取り付けるため、コネクターを元の通りに接続します。
◎カバーを本体にかぶせ、上部のロック（２カ所のツメ）がかみ合ったことを確認してから、下面を本体に押しつけ、嵌合ネジを締めてとめます。
◎通話ボタンを閉めます。




## ■取り付け･接続に関する法律など

・入線例とAC100V線の接続方法例



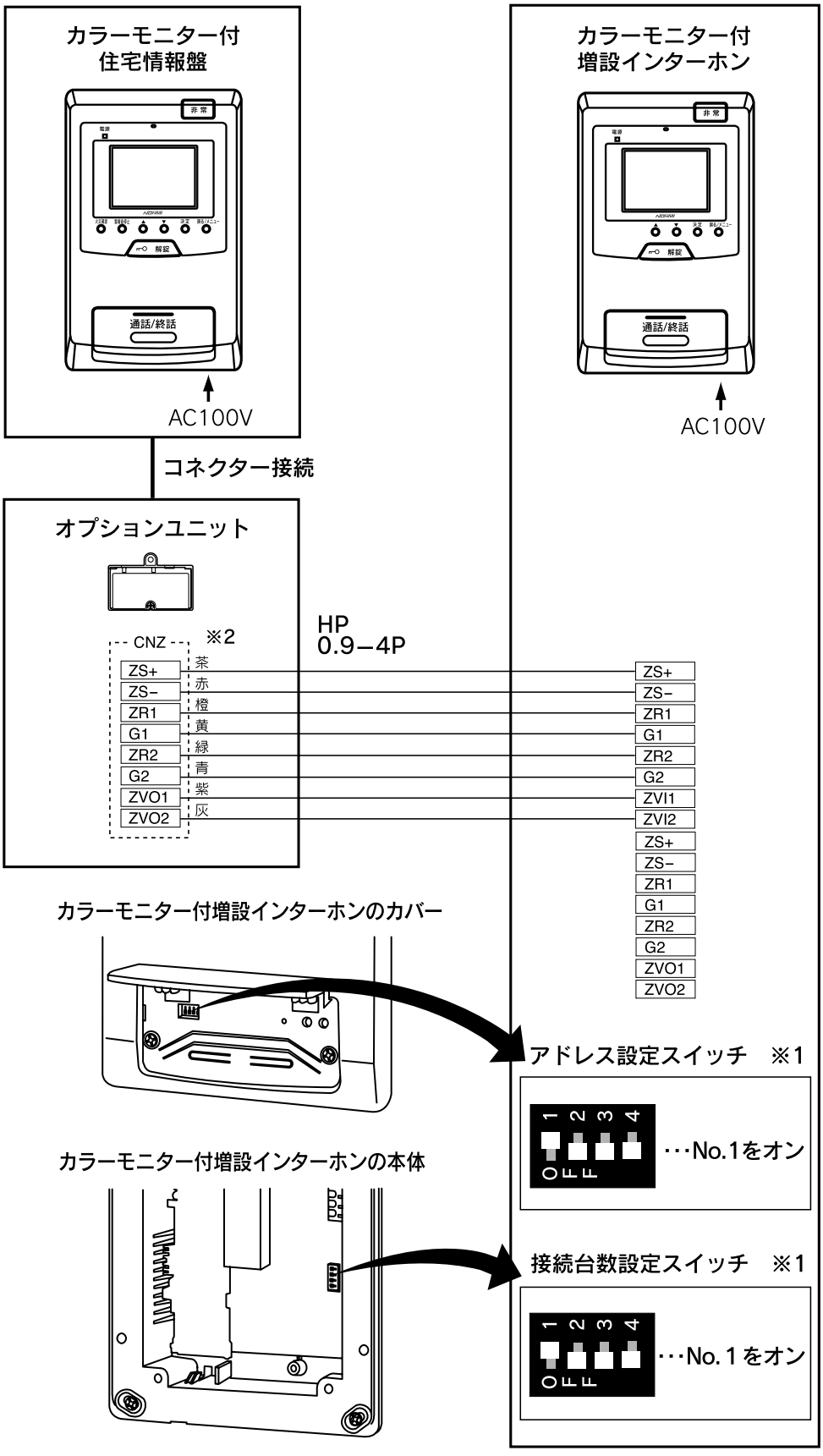

**〈電気設備技術基準189条2項、3項の解説〉**

189条2項において、各種工事をする場合、低圧屋内配線（AC100V線）が弱電流線または管に接触しないよう施設することが規定されています。
また、3項においてはライティングダクト工事、平形保護層工事、ケーブル工事以外で工事を行う場合、低圧屋内配線と弱電流線との間に堅牢な隔壁を設け、かつC種接地工事を施したボックスの中に低圧屋内配線と弱電流線を収め施設することが規定されています。
当カラーモニター付増設インターホンにおける埋込ボックス内の低圧屋内配線については、3項の規定より除外されるケーブル工事に該当するVVFケーブル（通称Fケーブル）を使用して施設してください。

# 3 接続・設定方法

本機は、カラーモニター付住宅情報盤に２台まで接続することができます。

## ■１台接続する場合

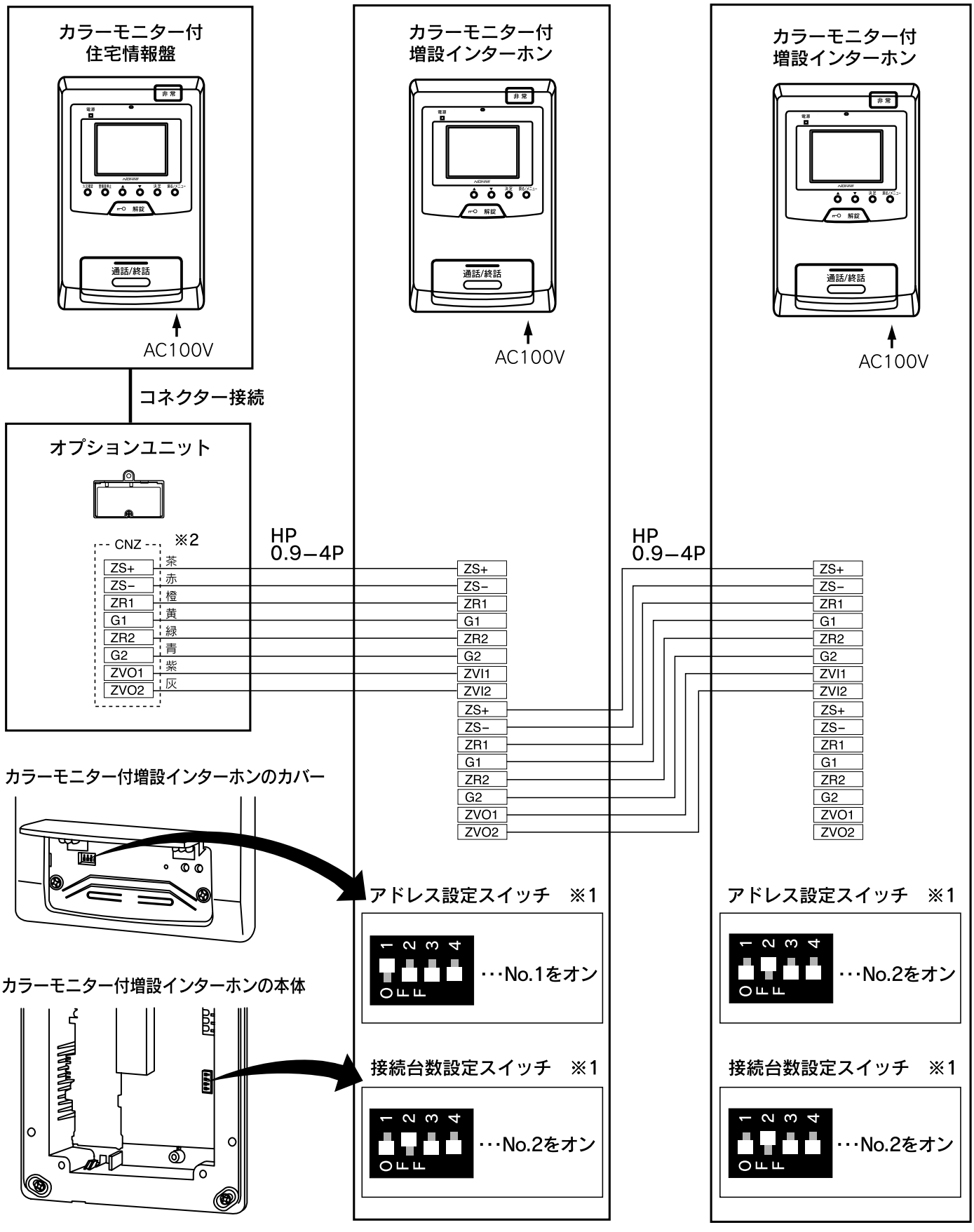



※1　本機の接続台数設定スイッチおよびアドレス設定スイッチを設定してください。

※2　CNZは本機接続用のコネクターで、本機の付属品です。

# 3 接続・設定方法

## ■2台接続する場合

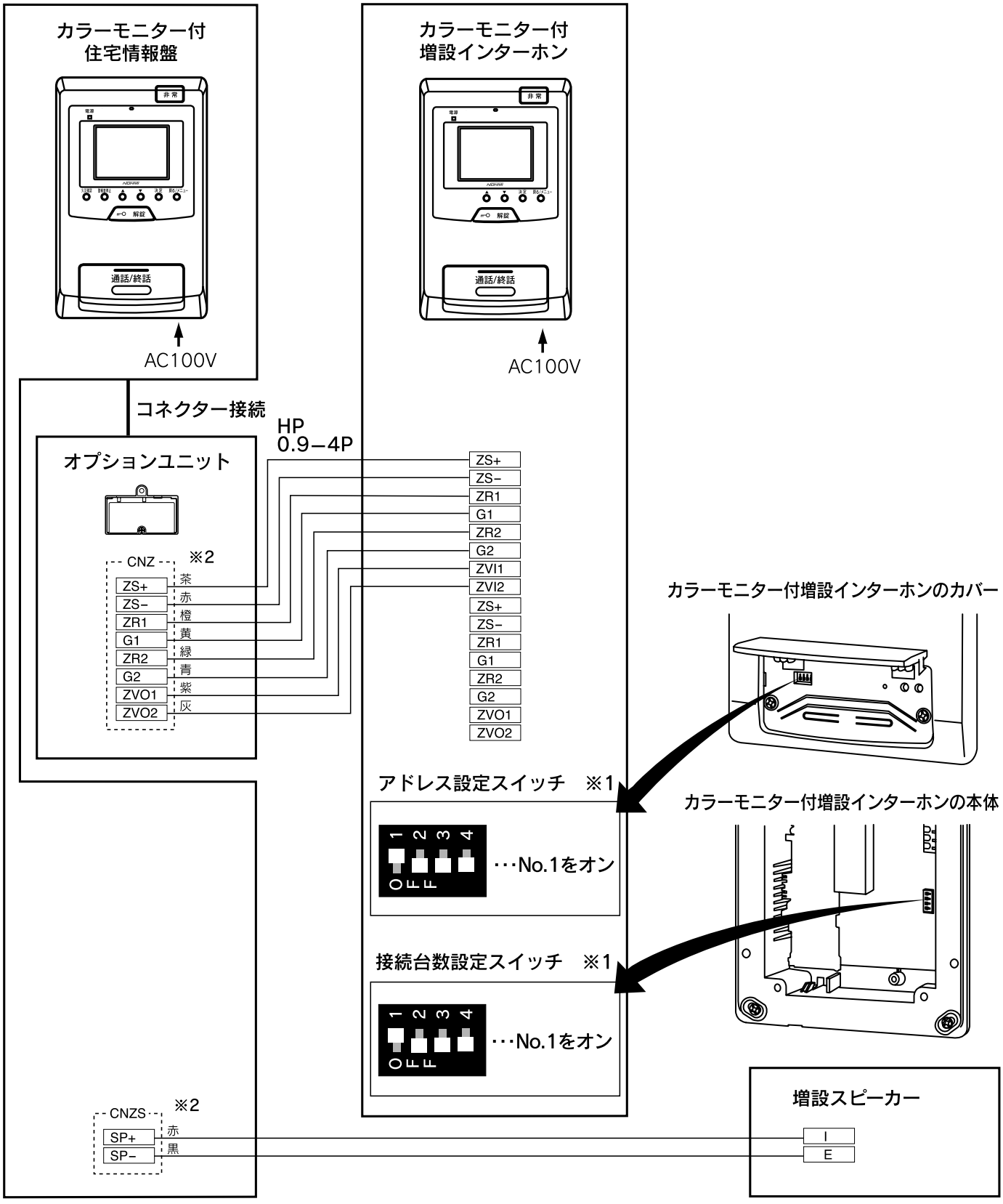



※1　本機の接続台数設定スイッチおよびアドレス設定スイッチを設定してください。
※2　CNZは本機接続用のコネクターで、本機の付属品です。

# 3 接続・設定方法

## ■増設スピーカーと併設する場合

カラーモニター付住宅情報盤に増設スピーカーとカラーモニター付増設インターホンを併設することができます。




※1　本機の接続台数設定スイッチおよびアドレス設定スイッチを設定してください。

※2　CNZは本機、CNZSは増設スピーカー接続用のコネクターです。
CNZは本機の付属品、CNZSは別手配品です。

# 4 設置後のお願い

**設置後は、本機、カラーモニター付住宅情報盤、ドアホンおよび管理室通話映像盤の「取扱説明書」をご覧いただき、次の各機能項目の確認を行ってください。**

## ■インターホンに関連する機能

(1) ドアホンから呼ばれた時の通話　(2) 管理室通話映像盤から呼ばれた時の通話
(3) 集合玄関機から呼ばれた時の通話　(4) カラーモニター付住宅情報盤から呼ばれた時の通話
(5) カラーモニター付住宅情報盤への呼出しと通話

## ■セキュリティ機能

(1) 火災が発生した時の動作　(2) 火災感知器の遠隔試験を実施した時の動作
(3) ガスもれが発生した時の動作　(4) 非常通報時の動作
(5) 防犯センサー作動時の動作　(6) コール信号が入った時の動作
(7) 水もれが発生したときの動作

※火災に関する試験は、点検資格が必要です。点検資格者が実施してください。火災感知器の遠隔試験の方法は、外部試験器に添付された取扱説明書をご覧ください。また、遠隔試験時はドアホンでは警報表示灯が点滅し、火災警報メッセージが鳴動し、本機およびカラーモニター付住宅情報盤では警報・表示しません。

## ■故障時の機能

(1) 火災感知器線が断線した時の動作　(2) ガス漏れ検知器線が断線した時の動作

# 5 仕様

| | |
|---|---|
| 種別 | カラーモニター付増設インターホン |
| 型名 | HCIJ002-U |
| 構造 | 埋込型 |
| 画面サイズ | 3.5型 |
| 主電源 | AC100V±10%、50／60Hz |
| 回路電圧 | [インターホン]DC12V(定電圧電源)<br>[IC回路]DC5V(定電圧電源) |
| 消費電力 | 監視時:約13W<br>作動時:約30W |
| 主音響装置 | スピーカーによる音声警報(DC12V、57mA、70dB、スピーカー径φ50mm) |
| 環境条件 | 使用温度範囲:0～40℃　使用湿度範囲20～85%(RH) |
| 主材・色 | 難燃ABS樹脂・ピュアホワイト |
| 質量 | 約650g |
| 寸法(mm) | (W)150×(H)240×(D)51　(露出高さ11mm) |
| 適合埋込ボックス | ZBC-9 |

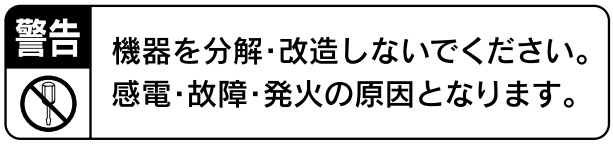
# 6 アフターサービスについて

この製品には２年間の保証が付いています。故障と思われる場合は、能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先へご連絡ください。
機器保証書の記載内容により、無償修理させていただきます。機器保証書は、大切に保管してください。

・技術的なお問い合わせ　**能美防災株式会社・技術部・管理１課　TEL:(03)3265-0232**
・能美防災株式会社最寄りのお問い合わせ先

**[補修用性能部品について]**

この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産中止後6年です。
この期間は経済産業省の指導によるものです。




MEMO

NOHMI 能美防災株式会社

本　　社／〒102-8277 東京都千代田区九段南 4-7-3 TEL.(03)3265-0211 FAX.(03)3264-4465
支　　社／北海道(011)746-6911 東　北(022)221-2695 新　潟(025)243-8121 丸の内(03)3213-1781
茨　城(029)225-2600 千　葉(043)266-0303 北関東(048)642-0147 西関東(042)627-4930
横　浜(045)682-4700 長　野(026)227-5521 静　岡(054)247-3211 名古屋(052)915-2411
金　沢(076)252-6211 大　阪(06)6330-8661 京　都(075)231-0128 神　戸(078)334-3581
広　島(082)263-7334 岡　山(086)244-4222 九　州(092)712-1560 熊　本(096)360-1051
営 業 所／旭　川(0166)35-7824 青　森(017)729-0532 盛　岡(019)645-0552 秋　田(018)862-5086
郡　山(024)933-5580 福　島(024)528-4195 上　越(0255)26-1886 羽　田(03)5757-9393
渋　谷(03)3461-1051 杉　並(03)3306-0451 城　東(03)3626-2461 城　北(03)5292-2137
五反田(03)3779-9737 土　浦(029)822-3851 宇都宮(028)637-4317 群　馬(027)328-1567
埼玉西(049)247-4640 川　崎(044)233-5773 沼　津(055)923-9669 浜　松(053)473-3422
岐　阜(058)276-7761 三　重(059)226-9860 富　山(076)444-1450 福　井(0776)21-0056
高　松(087)862-6012 徳　島(088)625-4325 松　山(089)974-2823 北九州(093)551-2588
長　崎(095)845-0135 大　分(097)543-2778 宮　崎(0985)28-8792 鹿児島(099)253-8196
沖　縄(098)862-4297
工　　場／三　鷹(0422)44-5141 メヌマ(048)588-1531